



男体

第40号
平成17年9月1日発行

第15回 栃木県キャンポリー ナスカの森で開催



4年に一度の県キャンポリーが、8月9日（火）～13日（土）に那須塩原市にあるボーイスカウト日本連盟那須野営場で開催されました。

県内23団約300名の参加者により、「ナスカの森に咲く花」をテーマとして、約1年間かけて展開してきたプログラムの総仕上げという形で行われました。

閉会式は激しい雨と雷により中止となるなど、天候に恵まれないこともありましたが、参加したスカウトは、それぞれ自分の「花」を咲かせることが出来たことでしょう。



目次	
県キャンポリー詳細	2-3
ワクワク夢体験の船	4
東部地区指導者講習会	4
VSプロジェクトを考察する	5
菊章取得	6
渡邊昭前総長 逝去	6
今市2団 夏季訓練	6
隊長のひとりごと・・・	7
事務局のうごき	8

県 キャンポリー



今回のキャンポリーでは、2種類のプログラムが設定されました。

一つは、天狗堂に奉納するお守りを獲得する「選択プログラム」、もう一つは、班単位又は個人単位で、閑時に参加する「公開プログラム」です。

どのプログラムも、普段のスカウト活動で積み重ねてきた経験と知恵を発揮するだけでなく、自分たちの持つ勇気と運を信じて、「そなえよつねに」を実践することを目的としたプログラムです。

それぞれのプログラムの名称、概要、狙っていたスカウト技能は次の通りです。

選択プログラム

No.	プログラム名	プログラムの概要	スカウト技能
1	那須野が原フットパス	電子コマ図を使った近未来的なハイキング	読図、ハイキング、パトローリング
2	ナスカの天狗の残した謎の地図	暗号解読と座標読みを組み合わせお守りを探すプログラム	読図、暗号解読
3	木を登るナスカの天狗	丸太、竹、ロープを使って、樹間にあるお守りを手に入れるプログラム	パイオニアリング
4	水を渡るナスカの天狗	丸太、竹、ロープを使って池の中の小島に渡り、お宝を手に入れるプログラム	パイオニアリング
5	ナスカの天狗に伝わる古文書	ナスカの森に伝わる古文書を解読し、お宝の場所を見つけるプログラム	暗号解読
6	ナスカの天狗からのメッセージ	手旗で発信される情報を解読し、追跡サインと地形図によってお守りが隠されている場所まで移動するプログラム	読図、手旗、追跡
7	ナスカの天狗の行方	周囲の状況を観察し、そこから得られる情報からお守りの在り処を推理して探すプログラム	観察と推理
8	ナスカの森から外国へ	外国の遊び体験したり、道具を作ることで国際理解を深めるプログラム	国際理解、ウッドクラフト



公開プログラム（A群、自分たちの持つスカウト技能を競うプログラム）

No.	プログラム名	プログラムの概要	スカウト技能
1	火起こし	マッチ2本で火を起こし、糸を焼き切る速さを競う	野外料理
2	簡易測量（重さ）	3種類の物体の重さを手で量り、重さを	計測
3	簡易測量（高さ）	国旗掲揚中の高さを測り、正確さを競う	計測
4	歩測	指示された地点間の距離を歩測し、	歩測
5	暗号解読	掲示された暗号文を解読する	暗号解読、推理
6	観察・記憶力	森の中の散策路に置かれた「不自然なもの」を探して記憶し、ゴール後に書き出す	観察、記憶
7	救急法	けが人に応急手当を施し、急造担架を作って安全に運ぶ	救急法

公開プログラム（B群、教養を深めるプログラム）

No.	プログラム名	プログラムの概要
1	スケッチコンテスト	キャンポリー期間中に自由にスケッチを行い、本部スタッフによるコンテストを実施
2	キャンポリー特選歌	キャンポリー期間中に、短歌・俳句・詩などを作り、本部スタッフによる人気投票を実施
3	天狗の秘密道具作り	12日の全体プログラムのときに役立つ天狗の色眼鏡を作成する
4	世界友情	外国のスカウト章と国旗を知る



この夏、ナスカの森で過ごしたスカウト諸君。君たちの持つ力は、予想以上にポテンシャルが高かった。

始まるまでは、天狗たちに「危なそうなときには、いつでも手助けができるように」と言っておいたが、その必要はまったく無かった。

おかげさまで、森に住む天狗たちも、君たちの持つ力からたくさん刺激を受けることができました。

君たちと、ここまで君たちを鍛えてくれた周りの大人たちに、感謝する。

ナスカの森に咲く花を観たことと思う。君たちが観た花は、「世界で一つだけの花」のほずである。その姿を大切に覚えておいて欲しい。

いろいろな花を観たことと思うが、天狗の秘力を尽くしても咲かせることができなかった「ウの花」があった。君たちに、ぜひとも観せたかったのであるが、ナスカの森に住む天狗たちも、まだまだ修行が足りなかったようだ。

ナスカの森に咲く花 次に咲くのは約30年後。そのときには、スカウティングの楽しさを、君たちの子孫に伝えてくれていることと思う。

ナスカの森に咲く花のことを、ぜひ、カブやビーバーたちに語り継いで、また観に来て欲しい。

その時には、今回と違った花を観ることもできるかもしれない。

ナスカの森に住む 赤い顔をした 大天狗より

ワクワク夢体験の船

7月23日～28日まで、栃木県主催のワクワク夢体験の船事業が行われました。例年の通り、栃木県連盟からも数名の指導者と、高校生リーダーとして数名のベンチャースカウトが参加しました。

以下はその内のひとり、宇都宮13団の森田君の感想です。

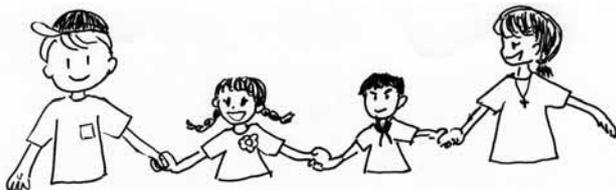


僕は、今回初めてワクワク夢体験の船に参加しました。

一番最初の結団式で初めて班の子供に会い、正直不安でいっぱいでした。

一日目には子供達といっしょにいろいろな所をまわりました。そこで一番心に残っているのが湖のキレイさでした。そしてその後に船に乗り北海道に向かいました。

二日目は船からおいて牧場に向かい、そこでカード集めのゲームをしました。そして次に行く所が門別漁港だという事がわかりました。



三日目には夜にキャンプファイヤーをして魔神を呼びだせて、みんなうれしそうでした。

四日目は班の子供達と北海道の街をまわりアイスクリーム、とうもろこしを食べました。そしてその後に船に乗りました。僕はその船でよってしまっても気持ちが悪かったけど、子供達の優しさに気づけました。

五日目には船の中で半日をすごして、その後に船をおいて海浜自然の家に着きました。そこでキレイな魔神の姿を見ました。

六日目はとうとう最後の日で、僕の班で劇をやり、泣かないと思っていたけど泣いてしまいました。

僕はこの旅で子供達の可愛さや優しさに気づくことができました。参加できて本当にうれしかったです。

宇都宮第13団ベンチャー隊
森田 芳樹

東部地区指導者講習会

8月28日（日）県連事務局に於いて平成17年度第2回東部地区指導者講習会が、星野典雄リーダートレーナーを主任講師に迎えて開催されました。

8名の参加者の方々は皆さん熱心に受講されておられました。

各団に戻られてからの、今後のご活躍を期待いたします。



ベンチャープロジェクトを考察する



佐野第4団ベンチャー隊 大島プロジェクト

スカウトプログラムは端的に言うとお遊びだと考えています。要は遊びをどうプログラムに結びつけるか、VS隊ならどうプロジェクトに繋げるかだけです。

その辺の手法は栃木県連では定期的にVS課程研修所を開催しておりますので、ぜひ入所頂き学んで頂ければと思います。

佐野4団の場合「夏休みなので海に行きたい」そんな単純な発想から今回の大島プロジェクトが始まりました。（なぜ海なのか、なぜ？）そんな処から、目的・目標を明確にし4名の参加希望があったためグループプロジェクトとの形をとりました。VS課程でもスカウト活動の特色であるグループ活動（班）は存在し普段の隊活動なら議長を中心としたグループ活動。プロジェクト活動の場合はプロジェクトリーダーを中心とした変則的なグループ活動（班）となるわけです。RS課程においては委員長を中心とした委員会活動がこれにあたります。

スカウト活動の仕上げの部門にあたる。VS・RSではこれはぜひやらなくてはならない重要な活動になります。規約では個人プロ三つだけでもベンチャー富士の要件に満たす事ができますが、私はグループプロが重要と考えます。

さて今回の佐野4団のプロジェクトは参加四名が必ずなんらかの担当を持ちその担当をこなす事により、グループに貢献しプロジェクト達成に貢献するようにしチームメンバーはグループの為に徹底する事により、グループの目的・目標達成することにより、メンバー1人1人の達成感も得られるわけです。



私の経験から、指導者好みのプログラムばかりだと、指導者は悦に入り、うれしいかもしれないが、せっかく「海」の希望をだしたスカウト当人はきっと耐えられないと思い、左の写真のように海水浴の時間もつくりました。但しこれはプロジェクトにまったく関係ない遊びです。遊びは遊び、プロジェクトはプロジェクトと自己管理できるのもベンチャー年代の特質です。但し普段の活動から、スカウトと指導者のコミュニケーションを取っておかないと開放感にひたり暴走しかねないのもベンチャー年代の特質。

私の隊ではほとんどのスカウトが携帯を持っているので、（この写真を撮る前に1人のスカウトがポケットに携帯を入れたまま海で遊び気がついた時は遅く、彼は相当落ち込んでいました。これを観てお分かりの通り、いまVSにとって携帯はなくてはならないツールになっているようです。これをうまく活用するのも現代のVS隊長の手法では？）私がMLを開設し、すべての連絡はMLを通してやっています。

私に面と向かって云えない事もメールにより文字入力する事により表現できるスカウトも居るのも現実なんです。隊費の通信費の節約にもなるし、今のところ私の隊では、賛否あるかもしれませんが効果を発揮しております。

申し遅れましたが今回のプロジェクトの活動は海釣りやダイビングの二本に絞り活動したわけですが、今のスカウトは携帯の文字入力はいとも簡単にしますが、プロジェクトの報告書作成と云う文書作成は非常に苦手なようです。どうすればよいか？ぜひVS研修所に入所してください。お教えいたします。

佐野第4団ベンチャー隊 隊長 高尾 一

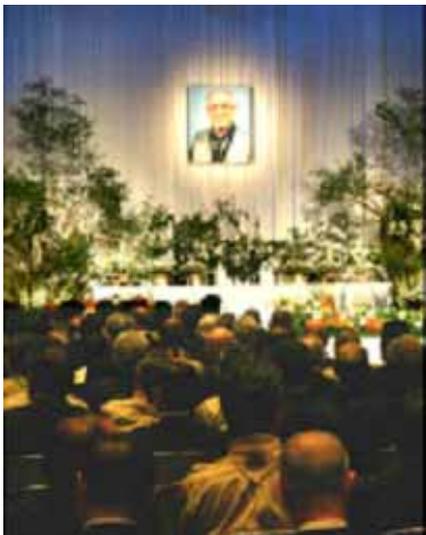
菊 章 取 得

7月18日に宇都宮15団の毛塚幹人くん・和良品達也くんが、県連事務局に於いて、また、7月31日には、塩谷8団の安部友通くん・八板伸幸くん・鈴木雅憲くんの3名が小川町的那須2団スカウトハウスにて、ボーイ隊の菊章を取得し、各地区の地区委員長・地区コミッショナー及びプログラム委員長との面接を受けました。これからもスカウト活動にますます活躍されることを期待します。



写真は宇都宮15団の毛塚くん和良品くん

渡 邊 昭 前 総 長 逝 去 さ れ る



ボーイスカウト日本連盟の前総長 渡邊昭氏が7月23日未明に103歳の生涯を閉じられました。昭和のはじめからスカウト活動に携わり、昭和49年から平成15年の29年間日本連盟総長として、我が国のボーイスカウト運動に献身され、スカウト関係者の敬愛を一身に集められてきました。7月31日、東京プリンスホテル パークタワーにおいて日本連盟主催の「故渡邊昭前総長お別れの会」を催し、全国からスカウト・指導者及び関係者1,000人が出席し、長年に亘るご指導に感謝申し上げますとともにご功績を偲びました。
（「日本連盟維持会員だより」より抜粋）

今 市 2 団 夏 季 訓 練 開 催

8月20日～21日 今市2団所属のビーバーからベンチャーまで総勢120名 湯西川にて 夏季団訓練を行いました。

カブのくま以上のスカウト達はキャンプ生活を、それ以下の子供達は舎営にと分かれた活動になりました。

湯西川という場所から《平家の里には隠れた武士が居たという伝説がある》という題材の元に、全員でのワイドゲーム、そして夜には キャンプファイヤーと、団としての交流を深めた2日間でした。

今市2団 ボーイ隊 福田睦夫



隊長のひとりごと……

土星の輪を見たことはありますか？

みなさん！土星の輪をみたことがありますか。

私もこれまで51年間、写真以外で「土星の輪」を見たことがありませんでした。ボーイスカウト活動をしているとこんな機会にも恵まれるのですね。

天体望遠鏡で「土星の輪」を見た場所は、「南那須少年自然の家」です。ぜひ、体験して下さい。お勧めします。

宇都宮15団では、3年前から「南那須少年自然の家」で団キャンプを行っており、目玉プログラムとして、天体観測を毎回予定しているのですが、自然相手のため、天候に恵まれないことが多く、私は3度目で「土星の輪」観測達成できた訳です。

「土星の輪」美しいですよ。

天文ファンになるスカウトもでてくるでしょう。スカウト活動に天体観測を入れてみてはいかがでしょうか？



ひとりメモ

「土星の輪」を初めて見たのは、「ガリレオ」で1610年のことです。

当時の望遠鏡はあまり良くなかったので、輪が土星にくっついた2つの丸い玉に見え、土星には「耳」があると「ガリレオ」は驚いたそうです。

この「耳」が土星を取り巻く薄い輪だと観測によって発見したのは、オランダの「ホイヘンス」で1655年のことです。

その後も詳しいことが観測でわかってきています。

宇都宮第15団ビーバー隊長
高嶋孝夫



事務局の動き

平成17年

- 7月 2日(土) 理事会
- 7月 2～3日 全国コミッショナー会議
- 7月 3日(日) 14NJ-2SC会議
- 7月 6日(水) 開発委員会
- 7月11日(月) 15TC実行委員会
- 7月16日(土) 関東ブロック会議
- 7月23日(土) ワクワク夢体験の船in北海道
- ～28日(木) 15TCグループ別会議
- 7月31日(日) 15TC準備
- 8月 6日(土) 第15回栃木県キャンポリー
- 8月 9日(火) (那須野営場)
- ～13日(土)
- 8月28日(日) 東部地区指導者講習会(県連)
- 8月28日(日) 組織委員会

今後の予定

- 9月 3日(土) 理事会・富士章面接
- 9月19日(月・祝) スカウトの日
- 9月16日(金) WB研修所BS課程栃木23期
- ～19日(月・祝) 烏山町CCC
- 9月10日(土) グローバル委員会
- 10月 1日(日) 各種委員長会議
- 10月 8日(土) アジア学院見学(グローバル)
- 10月16日(日) 第35回栃木県カブラリー
- 那珂川町
- 10月23日(日) 組織委員会
- 10月29日(土) 県ベンチャースカウトフォーラム
- ～30日(日) 県連会議室
- 10月29日(土) 4県合同TT集会
- ～30日(日) 佐野市 唐沢青年の家
- 11月27日(日) 北部地区指導者講習会(烏山町)



作:をかもと ㊄

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号
 電話 028(621)9800
 Fax 028(621)9800
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp
 info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。